

地域の経済動向(令和5年7～9月期) 《道南(渡島・檜山)地域》

1 経済動向に係る企業等の声(7～9月期)

【建設業】

- ・ 採用に関して様々な手法を試しているが、建設業を志望する求職者が少なく苦戦している。現場で働く若手正社員の確保が今後の課題。(建設業)

【製造業】

- ・ 菓子製造に卵が必要だが、卵不足と価格高騰で経営への打撃が大きい。(食料品製造業)
- ・ 販売部門は人手不足で、特に週末や夏休み期間などに不足する。製造部門は、軽作業員は充足しているが、熟練工が不足しているため、イベントへの出店ができなくなっており、イベント出店により新規開拓を行っているので影響が出る。人件費は平均 20%程度増加した。(食料品製造・小売業)
- ・ 人材確保には毎年苦勞しており、ミャンマーからの実習生が頼りになっている。(食料品製造業)
- ・ 男性の育休は、それをカバーする職員がいらないため取りにくい環境にある。(食料品製造業)
- ・ 人手不足で、高卒、大卒関係なく募集しているが、応募がない。(水産加工業)
- ・ 電気代の高騰や一般住宅の受注減少により業況は悪い。道産材を有効利用した住宅への補助などがあるとありがたい。(木材製造業)
- ・ ラピダスの進出により、技術職の流出が心配。人手不足が加速すると思われ、同業種としては脅威に感じている。(半導体製造装置製造業)

【卸売・小売業】

- ・ 仕入価格高騰の影響は大きいですが、価格転嫁はできている。(食料品製造・小売業)
- ・ 今年の売上は、コロナ禍前の 2019 年とほぼ同じだった前年に比べ、大体 20%増。しかし、商品を約 20%値上げしたので、利益はコロナ禍前と同程度。(食料品製造・小売業)

【運輸業】

- ・ 船の燃料代(A重油)は、国の「燃料油激変緩和措置補助金」があったものの、前年比 18 百万円の増加。(水運業)
- ・ 船員が退職予定だが、その欠員がなかなか埋まらない。(水運業)
- ・ 輸送実績は、前年比では増加だが、コロナ禍前よりは減少。自衛隊施設の工事が終了したため、トラック車両の輸送が減少している。
一方、クルーズ船が島に 3 回寄港する予定であり、島内観光用大型バスの回送利用が往復 40 台以上見込まれることから、観光利用は昨年を大きく上回ると思う。(水運業)

【サービス業】

- ・ キャンプ場の利用者が多く、観光の団体バスも来ており、欧米からの観光客も目立つようになるなど、町に人が来るようになった。(宿泊業)
- ・ 昨年と比較して売上はほぼ横ばいだが、減少部分の要因としては、仕入価格高騰の影響が大きいことと、売上の 2～3 割を占めていた昼の営業(テイクアウト)を停止していることによる。(飲食店)
- ・ 猛暑で黒豆ソフトの売上が好調であり、キッチンカーによる利益の割合が増えている。(飲食店)
- ・ 飲食店では、総会等、会議後の懇親会が行われるようになって来たが、コロナ禍前ほど行われていないようだ。(商工会)
- ・ 人材派遣に関してはコロナ禍により 3 年間赤字。(労働者派遣業)

【関係機関・団体】

- ・ 後継者がいないため、自分が働けるうちは続けるが、その後は廃業と考えている事業者が多い。(商工会)
- ・ インボイス制度の開始により、廃業を検討している事業者が若干いる。(商工会)

2 道内金融機関から見た地域景況感(7~9月期)

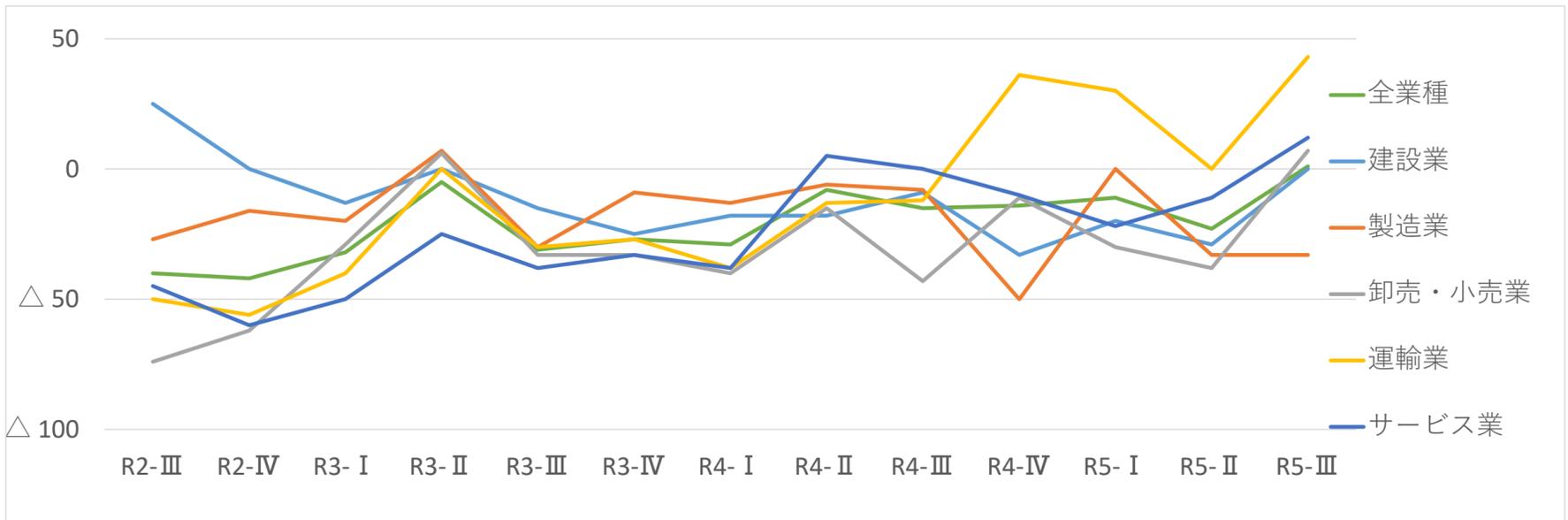
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
渡島信用金庫				新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、一部観光関連の業種に持ち直しの期待感もあるが、人手不足による雇用問題及び賃金問題や原材料・燃料費等の高騰により、事業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いていることから「やや低調」と判断した。		新型コロナウイルス感染症が5類に規制緩和され、人流の活性化に期待がもてるものの、各業種において人手不足、物価の高騰など、景況感が上昇傾向にあると判断する材料はまだ乏しいものと考えられる。
道南うみ街信用金庫				今期の業況判断DIは、概況で前期比4.8ポイント増、売上額の動きで前期比5.3ポイント増、収益の動きで1.7ポイントの減少となった。売上額の動きでは、卸売業・サービス業が大幅な増加を示す一方、小売業・製造業で減少となった。収益の動きでは、サービス業・卸売業は増加となったが、他の業種では、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が十分に行われず減少となった。また、観光客の回復傾向の中、卸売業・不動産業を除き他の業種においては人手不足が顕著となっており、業況の好転にはもう暫く期間を要するものと思料する事から、前期と同様の「やや低調」と判断した。		次期の景況見通しは、概況では今期と変わらない予想となり、売上額の動きでは今期比11.8ポイント、収益の動きで同1.9ポイントと共に減少予想、また、受注残高(建設・製造)でも同じく7.8ポイントの減少予想となった。仕入価格上昇の不服感はあるものの、慢性的な人手不足から、今期の「やや低調」のままの推移で変わらないと判断した。

	R3-IV	R4- I	R4- II	R4- III	R4-IV	R5- I	R5- II	R5- III
渡島信用金庫								
道南うみ街信用金庫								

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III
全業種	△ 40	△ 42	△ 32	△ 5	△ 31	△ 27	△ 29	△ 8	△ 15	△ 14	△ 11	△ 23	1
建設業	25	0	△ 13	0	△ 15	△ 25	△ 18	△ 18	△ 9	△ 33	△ 20	△ 29	0
製造業	△ 27	△ 16	△ 20	7	△ 30	△ 9	△ 13	△ 6	△ 8	△ 50	0	△ 33	△ 33
卸売・小売業	△ 74	△ 62	△ 29	6	△ 33	△ 33	△ 40	△ 15	△ 43	△ 11	△ 30	△ 38	7
運輸業	△ 50	△ 56	△ 40	0	△ 30	△ 27	△ 38	△ 13	△ 12	36	30	0	43
サービス業	△ 45	△ 60	△ 50	△ 25	△ 38	△ 33	△ 38	5	0	△ 10	△ 22	△ 11	12

4 各種経済指標

